

ゆうゆう通信



発行日：2021年8月8日
住所：上田市住吉 2863-10
電話：23-3482



多様で、福祉に手厚い、持続可能なまちづくり 日本一やさしい上田をめざして

上田市議会議員石合ゆうた 市政報告です。

6月定例会報告

上田市議会令和3年度6月定例会は、6月7日から6月28日まで開会し、条例案3件、予算案4件、事件決議案6件、専決処分11件、人事案件1件、合計25件、いずれも可決、同意、承認の決定をして閉会しました。

主な内容は、広報シティプロモーション推進事業費（市民リポーターの拡充や写真投稿サイトを活用したフォトコンテンツの費用など）で1031万円、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金（総合支援資金の再貸付け終了で追加貸し付けを受けられない世帯等の生活支援のための支援金）で5682万円、公共交通キャッシュレス化推進事業（市内バス路線のキャッシュレス化推進のため民間企業と共同した実証実験のための費用）で500万円、新型コロナウイルススワクチン接種事業で2億9070万円などです。

私は、所属する総務文教委員会です。質疑しました。

質疑 職員人件費で、年度末等に、当初予定していなかった退職者が出たことにより、不足する退職手当21人分、1億812万5000円の増額となっているが、特に、2桁の退職者が出ている健康子ども未来部について、新型コロナウイルス感染症に関する市民相談や対応業務が、退職の原因となった事例はなかったか。

答弁 新型コロナウイルス感染症への対応部署は電話対応やワクチンの集団接種対応などがあり、大変な厳しい状況に置かれているが、市民相談業務に従事していることを理由に退職を申し出た職員はいない。

土屋市長の現任期の退職金を支給しないこととする条例制定に反対しました

本定例会では市長から「現任期中の退職手当を辞退する」との申し出がなされたことから、上田市長の現在の任期に係る退職手当（約2千万円）を支給しないこととする特別措置を講じる条例案が出されました。

質疑において、私から「将来の市長等への影響を考慮した上で提出してい

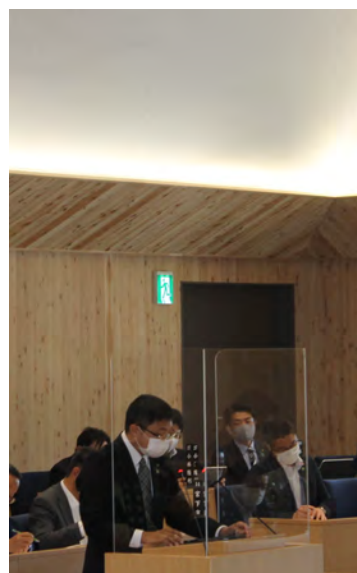
るか」と問い、市長から「退職手当の辞退が政策論争になることを避けるため、選挙公報などには掲載せずに、選挙にのぞんだ経過があり、現在も市長の退職金や給料が政策論争となるのは好ましくないと考えている。今回、退職手当を辞退しても、今後の政策論争にはつながらないと考えている。」と答弁がありました。

委員会において反対討論を行い、「市長任期が1年を切る中で、コロナ対策のためなど本条例を提出する明確な理由が示されなかったことから、退職手当の辞退は、市長選に向けたパフォーマンスに映る。また、多様な人材が志を持って市長を目指すことを妨げることもつながらることなどを考慮すると反対である」と主張しました。

本会議では私の所属会派新生会（議長を除く7名）及び上志の風の1名が反対しましたが、賛成多数で可決されました。

一般質問

新本庁舎で業務開始した初めての議会で、私の登壇が一番のため、新議場での初めての一般質問となりました。



【コロナ禍における支援】

（問） ワクチンを打ちたくない、あるいは体質として打てない方がワクチン接種をしていないことで職場や学校等で差別、いじめ、不利益な取扱いが生じてはならないと考えるが、市ではワクチン接種をしなくても差別を受けないことへの対応はどう捉えているか。

また、コロナ禍により生活相談が増加する中で自殺につながりかねない悩みを抱えた方からの相談もあるが、担当職員の相談体制はどうか。相談能力向上のためにゲートキーパー研修が必要と考えるが、見解を伺う。

答（健康こども未来部長） 今後ワクチン接種が進むにつれ、ワクチンを受けない、または受けられない方への差別がさきのコロナ禍の差別と同様に生まれることが想定されます。ワクチン接

態やワクチンの副反応等に鑑みてそれぞれで判断いただくものでございますので、接種を受けない方の人権を守るためにもそうした方々に対して差別的な扱いがなされないよう意識啓発に取り組み、人権擁護委員による悩み事相談のほか、市民プラザ・ゆうの窓口でも相談をお受けするなど、当事者に寄り添った対応に努めてまいります。

ゲートキーパー研修は市では毎年1コース4回の内容によるゲートキーパー養成研修会を開催しておりますがこの研修会につきましては一般市民を対象としておりまして、受講者数が最大25名程度と限られていることから、相談を担当する職員が希望されても受講できない場合もあります。今後は庁内の窓口、相談を担当する職員を対象としたゲートキーパー研修を実施するよう関係部局等とも調整してまいります。

【性的マイノリティ】

（問） 上田市人権尊重のまちづくり条例に基づき上田市人権尊重のまちづくり審議会が設置されているが、この審議会の中にLGBT*分野の専門分科会

などを設けて、専門的知見に基づいた施策の検討や専門的知見を持つ方をアドバイザーに加えることは有効と考えるが、いかがか。

また、松本市では本年4月からパートナーシップ宣誓制度*が開始されました。一方または双方が性的マイノリティであることのほか、成年であること、いずれか一方が松本市民であること、または市内への転入を予定していること、配偶者がいないこと、宣誓者以外の方とパートナーシップの関係にないこと、宣誓者同士の関係が近親者でないことなどをいずれも満たす方が対象で、パートナーシップ宣誓書受領書または受領カードを提示することで、市営住宅の入居申込み、松本市立病院において面会、手術同意、みとり等親族と同様の対応、一部携帯会社の家族割引、同性パートナーを保険金の受取人に指定といったことが可能となりました。身近な自治体での事例ですが、受け止めを伺います。

答（市民まちづくり推進部長） 上田 市人権尊重のまちづくり審議会でございます。この審議会でございますが、人権尊重のまちづくりのための施策を

総合的に調査、審議をしていただくために設置をしているものでございました。15人の委員の方から構成しているものでございます。性的マイノリティーはその概念も含めて市民に広く認知されているとは言えない状況であることから、ご提言のとおり、審議会に部会を設け、専門的知見を有する方とともに深く掘り下げてみることは理解の促進、増進に向けまして有効な手段と思われまますので、今後研究をしてみたいと、このように考えております。

パートナーシップ宣誓制度についてご質問いただいております。松本市でのパートナーシップ宣誓制度は、全ての人の人権尊重を背景として、多様性を認め合う社会の推進、自分らしく暮らせる社会の構築といった目標へ向かうものであると同時に、LGBT当事者への差別や偏見の解消につながる実践的な施策の一つであるというふうな受け止めております。当市における人権施策基本方針においては、「個性や多様な価値観を尊重し合うまちづくりを行うことで、一人ひとりの人権が尊重される社会を実現する」としており、このパートナーシップ宣誓制度もこの

理念に相通ずるものというふうな考えでおります。

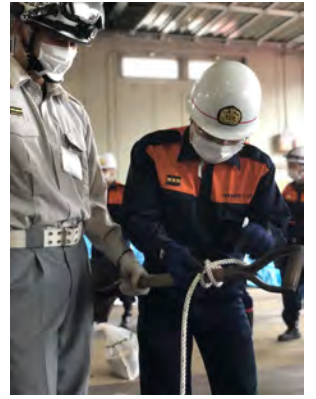
*LGBT・レスビアン (Lesbian)、ゲイ (Gay)、バイセクシャル (Bisexual)、トランスジェンダー (Transgender) の頭文字を組み合わせた言葉で、性的少数者を表す言葉の一つ

**パートナーシップ宣誓制度…一方又は双方が性的マイノリティである二者が、互いを人生のパートナーとして日常生活において協力し合う関係であることを宣誓し、その宣誓を市が受け止める制度。

松本市では、宣誓後に交付されるパートナーシップ宣誓書受領書または受領カードを提示することで市営住宅の入居申し込みなどが可能となる。



右のように市内にある一部学校多目的トイレの表示がLGBT当事者が入りにくいなど課題があると認識しました。教育総務課に改善を要望したところ、夏休みに点検し、可能な限り新市役所本庁舎のような（左写真）表示にしていくことになりました。嬉しい前進です。



消防団の水防訓練に参加しました。熱海市などの大雨の災害がありましたが、近年は災害の大規模化が顕著です。これから台風の時期に向かいますので訓練を重ね、万が一の事態に備えたいです。



聞こえに悩みをお持ちの方が傍聴に見えられた際の聞こえをサポートする磁器ループです。左耳の聞こえない私も装着してみました。音が聞こえることに喜びがありました。難聴の方で傍聴をご希望される方はどうぞご利用ください。

石合ゆうた活動報告



上田地球を楽しむ会での泉の会などの皆さんに呼びかけ、ゼーベック発電の公開勉強会をしました。地域分散型のエネルギー創出、里山の樹木の有効活用など多くの可能性を感じました。



広域連合の管内視察で長和町の生ごみみたい肥化处理施設「くるりん」に

行きました。年間に生産されるたい肥が約100トンありますが、有効な受け入れ先に課題を残しています。ごみ処理は広域連合の重要課題であり、幅広い視点で取り組んでいく必要があります。



総務文教委員会の所管事務調査で改築がスケジュールにのっている第五中学校を視察しました。シンプル・安全・機能性を大切に、子どもたちの安心安全の学び舎として改築の推進が待ち望まれます。新たな五中今後の学校施設整備のモデルケースにという市の考えもあり、重要な改築となります。

石合ゆうた プロフィール

平成元年生まれ

神科小、五中

長野俊英高等学校

立正大学文学部史学

生活困窮者支援・脱原発などの市民運動に関わる

ダイケア施設で働きホームヘルパー2級取得
民間企業（京都）に就職後、ふるさとの未来を思い退職

（議会の活動）

上田市議会総務文教委員・広報広聴委員・議会タブレット導入研究委員・上田地域広域連合議会議員（保健福祉委員会）・青木村及び上田市共有財産組合議会議員

（地域の活動）

非核・平和・憲法を護る上小の会副会長
上田地球を楽しむ会事務局次長
サンタプロジェクト・うえだ事務局長
泉の会副会長
上田市消防団員

（議員連盟等）

信州オーガニック議員連盟
LGBT議員連盟
長野県自然保育推進議員連盟
上田市議会観光産業振興議員連盟
上田市議会農業政策議員連盟
信州社会民主主義ネットワーク準備会

